

第5回 21世紀リハビリテーション研究会
(改称案第5回バイオフィリアリハビリテーション学会)

テーマ：介護・依存から自立へ
(寝たきりからのぶらぶら歩き)

日時： 2001年8月4日(土) 午後1時開会

場所： 日本医科大学医療管理学教室第一講堂(大学4F)

申し込み：聴講をご希望の方は所属名、住所、氏名、電話番号、FAX等を記載の上
お申し込み下さい。一般参加費3000円(資料代含む)

申込先(先着100名FAX又はe-mail)

/// リハビリエイド有限会社バイオフィリア研究所 研究会担当：滝沢 FAX：
0466-81-8815 takizawa@civilnet.org : <http://www.civilnet.org/21reha> ///

[研究会内容] 第5回 21世紀リハビリテーション研究会

総会(1時00分～1時15分)

司会 滝沢茂男(バイオフィリア研究所)(学会副会長予定者)

(会長挨拶) 木島英夫 木島整形外科医院・医学博士(バイオフィリアリハビリテーション学
会名誉会長予定者)

(介護・依存から自立へ・2025年で16%弱と想定される要介護老人の発生を10%以下にする。)

(第5回バイオフィリアリハビリテーション学会学術大会)

総合司会 神内 擴行 東海大学大磯病院リハビリテーション室室長(学会副会長予定者)

1. 大会長挨拶(我々の求める地域リハビリテーションのあり方)(1時15分～1時35分)
木村哲彦 日本医科大学医療管理学教室教授(バイオフィリアリハビリテーション学会会長予定者)

プログラム

総会

総会（1時00分～1時15分）

司会 滝沢茂男（バイオフィリア研究所）

（会長挨拶） 木島英夫 木島整形外科医院・医学博士

（介護・依存から自立へ・2025年で16%弱と想定される要介護老人の発生を10%以下にする。）

研究会

総合司会 神内 擴行 東海大学大磯病院リハビリテーション室室長

大会会長挨拶（我々の求める地域リハビリテーションのあり方）（1時15分～1時35分）

木村哲彦 日本医科大学医療管理学教室教授

2. セッション1（1時35分～3時30分）

「研究発表」 インペアメントレベルから自立へのリハビリテーション

座長 牧田光代 新潟医療福祉大学医療技術学部教授

「FIMに準拠した評価の考案と実施」

遠藤 敏 慶応義塾大学病院 リハビリテーション科

「下肢機能訓練器具による運動機能の回復度を定量的に評価できる機器の運用実施について」

家本 晃 神奈川県産業技術総合研究所機械システム工学部専門研究員

「歩行補助具の利用によるADL改善—ソリ付歩行器導入による改善—」

長澤 弘 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科助教授

「タキザワ式リハプログラムに基づく創動運動実施の評価」

森田 能子 川崎医科大学附属川崎病院リハビリテーション科部長

「大腿骨頸部骨折からの自立経験」

滝沢恭子・理学療法士

3. セッション2（研究のこれから）（3時40分～5時30分）

座長 滝沢茂男 バイオフィリア研究所

「中枢神経再活性化への期待」

福井圀彦・医学博士

「長寿と、遺伝と、そして神経と」

白澤卓二 東京都老人総合研究所分子遺伝学部門室長

「ラウンドテーブルディスカッション」 (参加者による)

「高齢者の笑みを保証するために」

医療法人帰巖会岡本病院 理事長岡本雄三

4. 総括報告 (5時30分～5時40分)

尾澤潤一 独立行政法人 産業技術研究所企画本部

*****次年度ご案内*****

2002年度バイオフィリアリハビリテーション研究会

大会会長 加倉井周一北里大学医療衛生学部教授

研究会 (学術集会) 開催予定日 2002年8月3日土曜日

場所 慶應義塾大学藤沢湘南キャンパス本館第4会議室 (同時通訳設備)

仮題: 介護・依存から自立へ (世界の人々と、世界の人々のために)